

起業の鉄則研究会(リーダー: 小林宏至常任理事)

平成 24 年 5 月 12 日(土)15 時から甲南アセット大阪中之島ビル 7 階会議室にて講師ともで 22 名が参加し、本年度第 2 回目の起業の鉄則研究会が開催された。

◆第 1 部 「中小企業における人財育成」

ケイ・ビジネスサポート代表: 久保多 貞夫氏

かつて住友金属でシステム事業経営に携わり人材育成に注力を持った経験を踏まえての研究経緯を述べられた。

人は大切な資産であり、磨けば宝物のように光り輝くとのニュアンスから、改めて人財の文字を使うこととした。

低成長時代、組織のフラット化がすすめられ、先輩・上司の立ち位置が変化し、OJT システムの崩壊、中小企業経営者のダメなやつを教育で変えられないとした考え方などを踏まえ、計画的 OJT と取り組み、企業特性に合わせた特に若手をその気にさせる Learning Pyramid、コーチングさらには PDCA の有効性について解説があった。また従来ややもすると見過ごされた務実行に対するフォローの重要性についてしめくくりがなされた。

◆第 2 部 「今に活かす澁澤精神「論語と算盤」

関西師友協会参与、南河内照隅会会長: 金谷 善夫氏

講師の所属する関西師友協会の紹介があり、戦後レジュームを形成してきたアメリカ型金融資本主義のリーマンショックなどによる崩壊により市場原理主義の行き過ぎの反省から、利他の精神、利よりも義を優先してきたかつての日本精神、その元の一つとなる渋澤栄一氏の生い立ち、業績について、三つのエピソードとして纏められた。

- ① その正義感・反骨心が発露して藩の役人に抗議—封建的身分制度への批判
- ② 陸海軍の予算で大久保利通に意見
- ③ 合本主義で三菱・岩崎弥太郎と論争

最後に渋澤栄一の講演録「論語と算盤」の紹介があった。

—子曰く、利に放って行へば怨み多し。など

終了後、当ビル 1 階の「本南鉄火」にて懇親会が持たれ、いつもながらの活気に満ちたひと時が過ごされた。 6 月度は神戸会場となります。